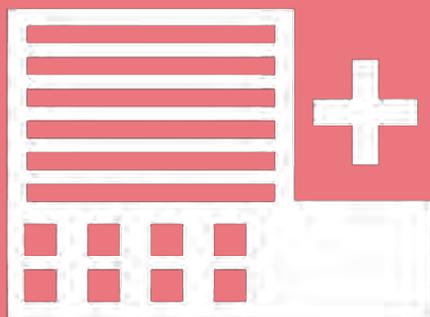


看護職員募集要項

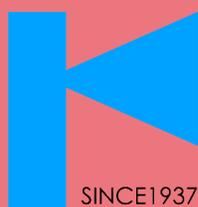
2023



あなたらしく
わたしらしく



Obihiro Kyokai Hospital
Nursing Department.



帯広協会病院

社会福祉法人 北海道社会事業協会 帯広病院

病院のご案内

地域に根ざした 確かな安心を

北海道社会事業協会の理念

私どもは医療・保健・福祉の従事者として力を合わせ、心のこもった医療、看護、介護の実践に努めます。

帯広病院の理念

十勝・帯広に必要な医療機関であり続ける。

病院長ごあいさつ

当院は此所十勝、帯広で住民から信頼され、親しまれて地域に密着してきた総合病院です。この地に誕生してから80年の歴史を刻み、多くの方々に育まれて参りました。この地で完結する医療の提供が当院の役割と考えます。

信頼される病院であり続ける為には、良質な医療を提供し、患者さんの要望に応えられなければならないと考えます。そのために優秀な人材が必要であると考えてきました。

一人の職員にできる事は限られています。職種の垣根を越えて職員が集まりチームとして活動することで、持てる力を倍増し、より高度な医療をより多くの患者さんに提供することが、当院の目指す方向だと考えています。

ですから、私は一人一人の職員とその家族を含め大切にしたいと考えています。職員が誇りを持って、全力で仕事に打ち込める、そんな職場環境を創る事に注力しています。皆さんが働き続けたいと思う職場にしたいと考えています。

まだ発展途上の職場です。でも、もっと成長できる職場だと信じています。理想の職場環境に少しでも近づけるよう前進を続けます。そのためには皆さんの力と熱意が必要です。ぜひ当院で君の力を存分に発揮してください。



病院長 阿部 厚憲

病院の概要

- 設立 大正11年(1922年)7月
- 病床数 300床
 - 一般病棟 252床(7対1入院基本料)
 - 48床(地域包括ケア病棟入院料)
- 診療科
 - ・総合診療科
 - ・消化器内科
 - ・循環器内科
 - ・呼吸器内科
 - ・腫瘍内科
 - ・小児科
 - ・外科
 - ・脳神経外科
 - ・整形外科
 - ・泌尿器科
 - ・産婦人科
 - ・耳鼻咽喉科
 - ・眼科
 - ・麻酔科
 - ・リハビリテーション科
 - ・救急科
 - ・精神科・心療内科
- 職員数 715名(委託含む)
 - ・看護職員 360名



院内のご案内

—看護部の紹介—

9F リハビリテーション室
スポーツ医学
心臓リハビリテーションセンター

専門外来ならではの細かい指導により高いレベルでの治療だけでなく、ケガをしない身体を作ることを目標とし、スポーツ障害の予防やパフォーマンス向上に努めています。



帯広市内を眺めながら
リハビリができます。

8F 第8病棟
<48床> 地域包括ケア

看護師と介護福祉士、医療ソーシャルワーカーや理学療法士など様々な職種が協働し、患者さんの在宅復帰を支援しています。

7F 第7病棟
<60床> 総合診療科・循環器内科
脳神経外科・呼吸器科

急性期から慢性期まで多様な患者さんが入院しています。症状の観察だけでなく、退位後の健康管理、生活を見据えた看護が提供できるよう、多職種と連携したケアを心がけています。

6F 第6病棟
<60床> 消化器内科・外科・麻酔科
耳鼻咽喉科・腫瘍内科

急性期の周術期患者さんと終末期を迎える患者さんが入院されています。患者さんの不安に沿った看護が提供できるよう、努めています。

5F 第5病棟
<60床> 整形外科・眼科・泌尿器科

手術目的で入院される患者さんが多いため、入退院が多い病棟です。自宅退院に向けてリハビリを日々頑張っている方も入院されています。一人一人の患者さんとの出会いを大切にし、満足して退院していただけるよう日々関わっています。

4F 第4A病棟
<34床> 小児科

小児科と未熟児室があります。子供たちやご家族が安心して入院生活を送れるよう、笑顔での声かけを心がけています。

第4B病棟
<38床> 産科・婦人科

助産師と看護師が協働し、女性の健康の回復、保持、増進に向け丁寧な看護や助産ケアを心がけています。



3F 中央手術室
中央材料室

手術室では、看護師・医師・臨床工学技士など様々なスタッフが協力し、患者さんに入室から退室まで安全に手術を受けて頂けるよう努めています。



2F 人工透析室
<18床>

感染症・重症患者さんの治療に対応できる環境を設備しています。また、病棟と連携し検査や手術目的で入院される患者さんにも対応しています。



外来
健診センター

小児科・外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・麻酔科・精神科・泌尿器科

外来
内視鏡検査室

総合診療科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・脳神経外科・整形外科・眼科

1F 救急処置室
中央処置室

突発的な外傷・急性疾患・慢性疾患の急性増悪など様々な状況によって救急処置が必要な患者さんに初期診療での看護の提供を行っています。専門医、各科診療科医師、研修医、看護師、各コメディカルが協力し対応に当たっています。

患者支援
センター

入院及び退院される患者さんへのサービス向上のため、入院前から退院までの支援を行っています。入院時の事務手続きのご案内、療養中の生活についての説明や退院後の療養環境の整備、福祉制度や介護サービスについての説明を行っています。

看護部のご紹介

看護部長ごあいさつ

帯広協会病院へお越しください！！



看護部長
浜名 真由美

看護副部長
田岡 桂子

看護副部長
酒井 恵

帯広協会病院は小児・母性・急性期、地域包括とあらゆる患者さんを診療し、帯広・十勝のセンター病院として地域住民の健康を守り続け開院85年を迎えます。そしてこれからも「十勝・帯広に必要な医療機関であり続ける」を病院理念とし、皆様の信頼と期待に応えられるよう病院一丸となって日々努力しています。

看護部は病院理念のもと「あなたらしく わたしらしく」を看護部理念としています。「その人らしさ」を大切に、患者さんと患者さんを支える方々の小さな変化に気づき寄り添える看護の専門職として、多職種と協働しながら切れ目のない看護・介護を提供しています。また、看護職の皆さんが「わたしらしく」生き生きと働き続けられる職場環境の構築に取り組んでいます。自立(自律)した看護職の育成のために帯広協会病院キャリアラダーを導入し、新人からベテランまでそれぞれが主体的に学習できるよう支援しています。

帯広・十勝を象徴する、暖かな日差し、大きな空と豊かな大地のような、心豊かに患者さんと向き合える看護職を目指し、共に成長していきましょう！お待ちしております。

2021年度入職 新人看護師



看護部理念

～あなたらしく わたしらしく～

看護部理念

患者さんとその家族とともに、どこでもどんな時でもその人らしくいるために、小さな変化にも気付き、寄り添い、支え、ともに分かち合える看護を実践するよう努力していきます。
その為に私たちは、常に前向きに物事を捉え誠実に向き合い、考え学び続けられる看護職を目指します。

看護部方針

- 1.患者さん・ご家族に寄り添い、満足していただける看護を提供いたします。
- 2.急性期から在宅まで、関連機関と連携を取り、継続した看護を提供します。
- 3.患者さんの安全を守り、安心して治療が受けられる環境を整え提供します。
- 4.専門的知識及び倫理観を高めるための自己研鑽に励み、質の高い看護を提供します。

看護教育制度

帯広協会病院 看護教育枠組み		マネジメント トラダー	看護 管理者	ジェネラ リスト	スペシャ リスト	特定行為研修・認定看護師研修、実習指導者研修 看護管理者研修（ファーストレベル・セカンドレベ ル・サードレベル研修）、医療安全管理者研修		
	ラダーV 目安9-10年目	看護単位の課題に対し具体的解決が図れ、 教育的役割を担う。 より複雑な状況において、QOLを高める看護を実践する。 部署の問題解決や目標達成に向けリーダーシップを発揮する。				・創造的看護実践 ・安全・感染管理上の 判断力の向上 ・育的機能の理解 ・課題解決力の向上	ステップアップ研修 学会参加	医療安全 感染管理 看護倫理
	ラダーIV 目安7-8年目	看護実践モデルとなり部署の目標達成に貢献できる。 幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する。 看護部や多職種を含むチームの中で役割を担う。 自己のキャリア開発に向け主体的に研究に取り組む。				・状況判断力の向上 ・看護部、多職種の 委員会メンバー ・自己啓発	問題解決研修 看護協会の研修参加	BLS 看護必要度
	ラダーIII 目安5-6年目	リーダーシップを発揮し、個別的な看護を実践する。 ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。 部署の目標達成に向け建設的かつ、自発的に役割遂行できる。 学界や研究会などの参加を通して積極的に学習する。				・個別性の看護の実践 ・チームリーダー ・看護学生指導 ・プリセプターフォロー	リーダーシップ研修 実習指導者研修 院外研修の参加	ナーシング スキル
	ラダーII 目安3-4年目	チームメンバーとして主体的に行動し、自立して看護を実践する。 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する。 部署の目標達成に向け主体的に行動できる。				・自立した看護を実践 ・看護観を言語化する ・プリセプター ・業務リーダー	プリセプター研修 事例研究 (ケーススタディ)	退院調整 看護研究
	ラダーI 目安1-2年目	チームメンバーとして、必要に応じ助言を得て看護を実践する。 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。 看護チームのメンバーとして助言を受けながら与えられた役割・業務を遂行できる。 助言を受けながら自己の課題を見つけ自主的に学習できる。				・指導の下看護過程を 展開する。 ・小チームメンバー	メンバーシップ研修 看護過程研修 ローテーション研修 フィジカルアセスメント	看護記録
ビギナー 新人	組織の一員として自覚し、指導を受けながら基本的看護が実践できる。 日常生活に必要な基本的技術・態度を身につけ安全安心な看護ケアが体験を通して実践できる。 チームメンバーの役割を自覚し誠実さと責任を持った行動ができる。				・安全安楽な技術の 取得（147項目習得） ・社会人としてのルー ールを身につける	新人研修指導に沿っ たOJT,Off-JT ローテーション研修	プレゼン テーション	
教育目標						実践・役割	ラダーレベル要件研修	全体研修
病院理念・方針						看護部理念・方針及び教育方針		

1.教育理念

看護部では、看護部理念に照らし合わせ、ひとりひとりを尊重した質の高い看護を提供します。
また、地域住民の健康レベル維持及び向上のために貢献できる人材を育成します。

2.教育目標

- 1.看護の実践家を育て、自立(自律)的に行動できるジェネラリストを育成する。(自己成長力も含む)
- 2.看護に必要な共感力を磨き、優しく温かみのある看護提供ができる看護師を育成する。
- 3.患者の健康問題を解決するのに必要なアセスメント能力の強化及び問題解決思考ができる看護師を育成する。
- 4.地域との連携を図り、切れ目のない継続看護が実践できるための交渉力・調整能力を持つ看護師を育成する。

卒後1年目 研修プログラム

学習の機会を多くし、質の高い看護を提供できる看護師の育成を目指します。

新卒者の方に対しても、地域住民の皆さまの健康レベルの維持及び向上のために貢献できる人材の育成を目指すため、地域医療・在宅訪問を取り組めるようプログラムを検討・構築しています。



2021年度 新人研修年間計画

(2022年度は企画中)

研修名

4月	新人オリエンテーション 感染予防策について
	食事介助 口腔ケア オムツ交換 褥瘡予防
5月	膀胱留置カテーテル 輸液ポンプとシリンジポンプ
6月	薬剤の投与方法 輸血の取り扱い
7月	看護記録の書き方 医療安全について
8月	移送・移乗 安楽な体位
9月	ハイリスク薬の取り扱い
10月	心電図モニターの装着・管理
11月	業務の組み立て方
2月	逝去時の看護
3月	1年間の振り返り
通年	BLSを学ぶ





第4B病棟 鈴木 しずく (2021年度入職)

北海道美唄聖華高等学校 出身

入職時はこんな私が看護師としてやっていけるのかと不安を感じていました。しかし、プリセプターや先輩スタッフの皆さんが丁寧に指導して下さい、出来る業務が増えてきました。

日々の業務の中では、知識・経験不足であるがゆえに、患者さんやスタッフの皆さんにご迷惑をお掛けしてしまい、看護の難しさを痛感しています。しかし、患者さんが元気に退院し感謝の気持ちを伝えていただくと励みになり、やりがいを感じています。

まだまだ未熟者ではありますが、多くを学習・経験し、自分の理想の看護ができるよう精進します。

手術室 清野 萌 (2021年度入職)

北海道社会事業協会帯広看護専門学校 出身



入職当初は初めてのことばかりで、手術室という慣れない場所で働くことに毎日緊張や不安を感じていました。しかし、周りの先輩方の丁寧なご指導により少しずつ看護師としての成長や手術室での業務に楽しさを感じる事ができています。術中看護は幅広い知識が必要となるため日々学ぶことが多く難しさを感じますが、その分達成感ややりがいも多く味わえます。まだまだ未熟ではありますが手術を受ける患者さんの緊張や不安を和らげ、安心・安全に手術を受けることができるよう、支援できる看護師になりたいと思います。手術室で働く看護者として、より良い看護が提供できるよう今後も学び続けていきたいです。

第5病棟 (2020年度入職)

山 利緒

北海道社会事業協会帯広看護専門学校 出身

永井 楓

天使大学 出身

長屋 萌菜

北海道社会事業協会帯広看護専門学校 出身



5病棟で勤務している看護師2年目です。5病棟は、整形外科、眼科、泌尿器科の混合病棟です。患者さんの入れ替わりが多く、急性期特有の忙しさもありますが、同期と支え合い、先輩方からのサポートも受けながら、楽しく仕事をしています。小児から老年まで、幅広い年代の患者さんと関わる機会があり、多くの回復過程にも立ち会うことができるため、とてもやりがいを感じています。

1年目は、新しく覚えることも多く、業務で精一杯になっていましたが、先輩方が優しく的確に指導をして下さり、成長することができました。

まだまだ、知識・技術ともに未熟な部分もあるため、学習を継続していきます。そして、日々、患者さんやご家族と真摯に向き合い、最善の看護ケアを提供していけるよう努めていきます。



一日のスケジュール 第7病棟看護師の仕事を紹介します！



感染対策も！



薬準備



エネルギーチャージ！

ZZZ...

交代で仮眠

0:00



おはようございます！



美味しいですね！

オムツ交換

20:00

夕食 18:00



6:00

朝の点滴準備

8:00 朝食

9:00

状態観察・点滴



16:30 夜勤さん情報収集！

しっかりメモをとります！

心臓カテーテル検査

13:30

カンファレンス

12:00

昼食

合間に記録も！

ここがカテーテル検査室です！

情報を共有します！



各部署の紹介

第4A病棟 小児科



当病棟は、小児病棟として様々な科の小児と未熟児室の入院を受け入れていましたが、2021年4月より総合診療科などの成人・老年女性も受け入れるようになりました。はじめは戸惑いもありましたが、学習係が中心となって勉強会を開き、ベテラン看護師が若い看護師を指導することで、それぞれが自信を持って看護が出来るようになりました。

また、ほとんどの患者さんが臨時入院のため、不安なく入院生活が送れるよう丁寧な説明を心がけています。看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・保育士・介護士・助手がおり、多方向から患者さんをアセスメントし、その人らしい生活が送れるように支援をしています。

第4B病棟 産科・婦人科



4B病棟は産婦人科病棟です。産科は妊娠期よりマタニティ相談を通し安心してお産を迎えられるよう支援し、未熟児室・手術室と連携し安全にお産が出来るように体制を整えています。退院後も安心して生活ができるように、電話訪問や2週間健診により継続的なサポートを行っています。婦人科は、周手術期における急性期・化学療法などの慢性期・緩和ケアや在宅ケアなどの終末期と、女性のライフサイクルに合わせた看護の提供を行っています。出生～人生の終焉に渡る女性の一生をサポートする存在でありたいと考えています。

第5病棟 整形外科・泌尿器科・眼科



5病棟は、整形外科、泌尿器科、眼科の混合病棟です。

3科とも、手術が必要となり入院してくる患者さんが多く、毎日、朝から入院の受け入れや手術の準備で忙しい病棟ですが、みんなで力を合わせてマスクをしながらも、心からの笑顔で頑張っています。

また、急に手術が必要となり入院してくる患者さんも少なくありません。きちんと手術を終えて家に帰れるのだろうか、帰っても家の中のことができないのではないか、など様々な思いを抱えながら入院生活を送っています。そんな患者さんの思い一つ一つに、看護師として日々寄り添い、安心して退院できるよう入院時から退院後を見据えた看護を実践しています。そのためには多職種が連携し、患者さんの思いを共有しながら看護を行っていくことが必要です。医師、看護師はもちろん、介護福祉士、看護助手、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、看護クラークが在中し、みんなで声をかけ、助け合いながら、退院する時の患者さんの笑顔を楽しみに、日々頑張っています。

各部署の紹介

第6病棟

消化器外科・消化器内科・耳鼻咽喉科・腫瘍内科



急性期の周手術期患者さんや、終末期を迎える患者さん等が入院している病棟です。

男性看護師も複数人おり、幅広い年齢の看護師から構成されています。看護師個々の強みを活かし、互いにサポートしながら日々成長し続け、笑顔を忘れずに患者さんが満足していただけるような看護の提供を心掛けています。

高齢化が進む中、在宅調整なども必要になる方も多く病棟スタッフと共にリハビリスタッフやMSW、退院調整看護師等に協力いただきながら、患者さんにとってより良い環境を考え日々看護に取り組んでいます。病期の異なる患者さん個々に寄り添い、この病院で良かったと思っ頂けるよう努力しています。



手術室では看護師18名と医師や臨床工学技士などのコメディカルと連携して働いております。時間外・夜間・土日祝日の緊急手術に24時間体制で対応できるよう当番制を採用しております。

私たち看護師は、患者さんに安心・安全な看護を提供できるように日々自己研鑽に励み、手術室看護師だからこそ出来る看護は何かと模索しながら働いております。

手術室と聞くと、緊張感を持つ方もいるかと思えます。状況変化にも臨機応変に対応できる知識や技術を身に付けることで、患者さんに安全な看護を提供できることに繋がり、達成感とやりがいを感じる職場です。

手術室



救急科・中央処置室



救急科は、外来患者さんへの採血や造影検査、処置等と、入院患者さんへの放射線下で行う検査、処置を行う中央処置室・内視鏡検査(上部消化器内視鏡・下部消化器内視鏡・気管支内視鏡)を行う内視鏡室、救急搬送患者や院内急変患者を対応する救急外来の3部門を担っています。

スタッフは新人からベテラン看護師までおり、それぞれのライフスタイルに合わせて働いています。救急科主催の学習会を行っており、専門性の高い内視鏡検査や、救急搬送患者へのABCなど、患者さんへより良い看護を提供出来る様に自己研鑽に努め、チームワークを大切に明るい職場を目指しています。



摂食・嚥下障害看護認定看護師
杉江 佳織

私は、当院の北海道社会事業協会看護専門学校を卒業し、入職しました。外科や消化器内科、泌尿器科、手術室などで勤務し、さまざまな科で多くの学びを得ました。

これまで患者さんとの看護を通し、最期まで「口から食べたい」と願う患者さんや家族に多く出会いました。しかし、病状や嚥下障害などで経口摂取を続けることができず、断念せざるを得ない状況や誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している患者さんに関わるうちに、安全に経口摂取を続けられることはできないか考えるようになりました。そんな時に摂食・嚥下障害看護認定看護師の存在を知り、教育課程での研修を受講しました。まだまだ未熟ですが「生きることは食べること」を信念に、患者さんの口から食べるを支援できるよう関わっていきたくと思っています。

これまで、呼吸器内科、消化器内科などへの病棟異動を経験し、現在は、整形外科・泌尿器科・眼科の急性期病棟で勤務しています。

現在の病棟では、突然の受傷や発症により、入院や手術を余儀なくされますが、患者さんの心配や不安が少しでも軽減されるようなコミュニケーションをとるよう日々心掛けて関わっています。

看護師として不足している知識や技術がまだまだあり、コロナ禍で研修は少なくなりましたが、学べる機会を大切に、定期的に研修に参加しています。

今までの経験を患者さんだけでなく、後輩にも還元できるように、これからも日々頑張りたいと思います。

また、私は、仕事と家庭の両立も目標にしています。子育て中ですが、理解ある職場のお陰でワークライフバランスを大切に仕事できています。



第5病棟 看護師
齊藤 真弓

6病棟は外科、消化器内科、耳鼻科、腫瘍内科が中心の混合病棟です。外科、消化器、耳鼻科は手術が多く、処置前後の観察は注意が必要で多忙になることもありますが、やりがいがあり、元気に退院される患者さんを見て「また頑張ろう」と思えます。

腫瘍内科は化学療法や疼痛コントロール等の治療を受ける患者さんが多くいます。どのような看護が必要か悩むこともあります。緩和ケア認定看護師等のサポートがあり、協力して看護を行える良い環境です。

昨年引きつづきコロナ対策として、入院中のご家族の面会ができない状況になっています。少しでも患者さんの理解者になれるよう、患者中心の看護を行えるよう日々努力していきたいと思っています。

父として育児休暇を利用することができ、復帰時は暖かく受け入れていただきました。

新人や既卒入職のスタッフへも受け入れが良く働きやすい職場だと思います。

僕が中村翼です！



第6病棟 看護師
中村 翼

看護部委員会の紹介

教育委員会



教育委員会は、各部署の師長、副師長が集まり、計10名で毎月2回の会議を行っています。会議の中では、各研修の企画・実施・評価を行い、PDCAサイクルを回しながら次年度へつなげています。研修に参加し、参加者が各部署で研修成果を活かし、自己の成長を感じてこそ、研修を行う価値ある成果と考えます。当院では、2020年度にキャリアラダーを導入し、2021年度より、キャリアラダーと連動した年間教育計画を立案し、個人のキャリアアップへの支援を強化しています。個人のキャリアアップは、看護の質向上にもつながります。今後も、教育委員会は、教育委員一人一人が日々学ぶ姿勢を忘れず、組織が必要とする看護師像の育成に向けて努力します。

新人教育委員会

新人研修委員会は、新卒看護師を対象に厚生省の新人看護職員研修ガイドラインを基に年間を通して集合研修の企画運営を行っています。毎月1回程度ある集合研修に加え、ローテーションによる他部署体験も行っています。研修のサポートをしながら新卒看護師の日々の成長を見守ることができ、研修を通して私たちもたくさんの学びを得ています。今後も実践に活かせる研修会として機能できるよう、委員会と各部署の力を合わせていきたいと思えます。



記録委員会



目的

看護の質向上に向けて、看護記録・看護計画の充実を図る

目標

- 1 看護記録記載基準の整理
- 2 患者基本・アセスメントシートに必要な情報が記載されている
- 3 看護内容や記録監査を行い、問題点を明らかにし改善する
- 4 記録委員が自部署での教育的な指導ができる

看護記録委員会では、看護記録の監査を行い、患者さんの看護に必要な情報収集が行え、患者さんの思いに寄り添った看護計画が立案できるよう日々取り組んでいます。

看護職員の待遇と奨学金制度について

● 看護職員の待遇

● 給与について (給与は、社会福祉法人北海道社会事業協会病院職員給与規定により支給されます)

- ・大学卒及び保健師・助産師 287,276円 (基本給216,600円 + 諸手当70,676円)
- ・短大・専修学校3年課程 280,844円 (基本給210,400円 + 諸手当70,444円)

● 勤務時間

- ・(3交替) 日勤 8:30～17:00 準夜 16:30～1:00 深夜 0:30～9:00
- ・(2交替) 日勤 8:30～17:00 夜勤 16:30～9:00

● 休日・休暇

4週8休体制

年次有給休暇(初年度4月より16日付与 最大40日間)、結婚休暇7日、忌引休暇、子供看護休暇、特別休暇など

● 加入保険

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

● 諸手当

夜勤手当、特殊勤務手当、通勤手当(2km以上)、燃料手当(例:一人暮らし72,900円)、扶養手当(配偶者17,000円 子6,000円)、住宅手当(上限29,000円)
※扶養・住宅手当については、個人の生活状況による

● その他

マイカー通勤可能、24時間保育所有り、退職金(1年以上の勤務)、昇給(年1回)、賞与(年2回)

つぼみ保育所(24時間保育所)

仕事と生活が両立しやすい環境整備のために24時間の院内保育所があります。

生後100日～満4歳までが対象です。清潔感があり、アットホームな雰囲気です。行事も盛りだくさんです！職員のお子さんが病気になった時でも親の付添いなしで病棟で預かる体制も整えています。

働き続けられる病院を目指し
保育環境を整えています！



● 奨学金貸付制度について

帯広協会病院では、将来、当院の看護職員として勤務を希望される看護学生さんに奨学金を貸与することにより、就学の支援を行っています。興味のある方、ご希望される方は、お問い合わせください。

● 奨学金貸付要綱

給付期間 就学期間

月額60,000円または80,000円 (年額 720,000円または960,000円)

※貸付金を受けた就学期間と同期間当院に就業した場合は、返済免除となります。

※貸与金額、貸与期間によって当院就職による返済免除期間が異なります。

※給付申請書を提出した日の属する月から卒業する月まで支給します。

年度途中の貸付OK!

● 申し込み書類

- ①推薦書
- ②奨学金希望理由書
- ③在学証明書
- ④成績証明書
- ⑤履歴書
- ⑥誓約書
- ⑦住民票

採用試験要項とインターンシップ・見学について

● 採用試験要項

● 応募資格

保健師・助産師・看護師・准看護師(2023年3月卒業見込みの方、または、既に国家試験・知事試験に合格されている方で夜勤勤務が可能な方)

● 採用者数

20~25名

● 応募方法

下記の必要書類を病院看護部に郵送してください。

【必要書類】

①履歴書(市販の履歴書等) ②卒業見込み証明書 ③成績証明書 ④国家免許所得者はコピー1部

● 採用試験について

2022年7月26日(火) 8月9日(火) 8月16日(火)

選考方法は、面接試験です。(状況によりWEB面接も可能です。応募時にご相談ください。)

● その他

採用内定者のみ、健康診断を後日実施いたします。なお、健康診断で就業不可となった場合は、採用が取り消しとなります。

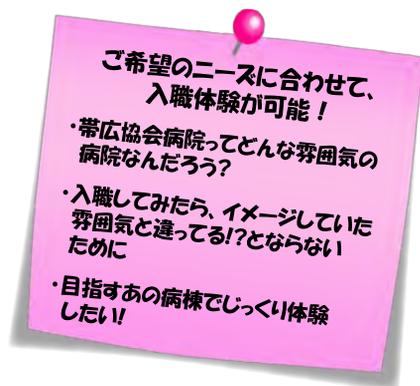
● インターンシップ・見学について

当院の雰囲気や実際の仕事の様子を肌で感じていただき、今後の進路を選択する際の参考にさせていただきたいと考え実施いたします。

<看護学生> **2022年 3月15日(火) 16日(水) 23日(水)**
5月17日(火) 18日(水)
6月 7日(火)

※見学はインターンシップと同日で午前・午後ともに受け付けています。ご都合のつかない方は相談ください。

多数のご参加をお待ちしています！



● 参加資格

2023年3月に卒業見込みの方。各学年で1回、お申込みができます。その他のことは相談させていただきます。

● 研修領域

- ・急性期病棟【外科系・内科系・小児、産婦人科】
- ・地域包括ケア病棟

● 申込み方法

希望日、人数、代表者名、連絡先、学校名、体験を希望する部署(第2希望まで)をお知らせください。詳細については、後日ご連絡いたします。

応募、インターンシップ・見学の申込み、お問い合わせ先

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地
帯広協会病院 看護部
病院代表電話 0155-22-6600
看護部 E-mail: obi-kango@obihiro-kyokai-hsp.jp
担当 看護部事務 岩崎



十勝バス 帯広駅より5分

徒歩 帯広駅より 20分



帯広協会病院

社会福祉法人 北海道社会事業協会 帯広病院

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地

TEL 0155-22-6600 FAX 0155-24-7076



ホームページはこちらから！ぜひご覧ください！